



ヒマワリ (キク科 ヒマワリ属)

夏の花壇で大活躍のヒマワリは切花としても大変人気です。6月から9月頃までは、お花屋さんの店頭を飾ることでしょう。今回お届けするのはマダムクラレットという品種です。チョコレート色の個性的な色合いが特徴です。

ヒメヒマワリ (キク科 ヘリオプシス属)

ヒマワリの小型版のようですね。この花は宿根草というグループで、土の中に根っここのカタマリのようなものがあり、毎年花を咲かせます。タネで増えるヒマワリとは違う植物なのです。今回の品種は、旭と言って花びらがたくさんある品種です。このような花を八重と言います。



ユーコムス

(ヒヤシンス科 ユーコムス属)

南アフリカ原産の花、パイナップルに似ている華からパイナップルリリーの別名があります。

ヨクシュヤマゴボウ

(ヤマゴボウ科 ヤマゴボウ属)

北アメリカ原産の花ですが帰化植物*として、日本中あちこちに生えるようになりました。ワイン色の花が垂れ下がる姿が面白いですね。

*外国から来た植物が野外で

定着したものをいいます。

アメリカテマリシモツケ

(バラ科テマリシモツケ属)

北アメリカ原産の花です。2月に開いた、コテマリという花に似ていますね。赤っぽくつやつやした色をしています。このような色合いを園芸の業界では銅葉と言います。